

令和元年度指定管理者モニタリングシート（平成30年度実績）

1 施設等の概要					
施設名	東久留米市スポーツセンター			所管課	教育部生涯学習課（内線3216）
指定管理者名	共同事業体 東京ドームグループ			指定管理者所在地	東京都文京区後楽1-3-61 （代表企業 株式会社東京ドーム）
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日	利用料金制の有無	有	他自治体での指定管理者実績	東村山市民スポーツセンター他多数
施設の設置目的	市民の体育・スポーツ及びレクリエーションの普及振興を図り、健康で文化的な生活の向上に寄与する。				
事業概要（サービスの概要、自主事業等）	平等で公平な施設の貸出業務。利用者への助言、指導及び相談業務。体育、スポーツ及びレクリエーションに関する教室等（自主事業）の実施業務。施設及び設備の適正な保守管理業務。安全で快適な環境維持管理業務。				

※本施設は平成18年度より指定管理者制度を導入しており、当該事業者は平成18年度より本施設の指定管理者を実施している。

2 決算額及び利用状況											
市決算額	28年度	29年度	30年度	指定管理料 対前年度増減		指定管理料 過去3ヶ年の 平均決算額	利用人(件)数			利用人(件)数 対前年度比増減	
				29年度-28年度	30年度-29年度		28年度	29年度	30年度	29年度/28年度	30年度/29年度
指定管理料	120,900,000	121,857,000	121,557,000			121,438,000					
使用料	78,406,375	74,369,315	72,951,655	957,000	-300,000		468,632	456,573	463,026	97.4%	101.4%
成果配分金	8,535,775	3,831,608	1,090,172								

※指定管理料過去3ヶ年の平均決算額欄：指定管理者制度の導入から3年を経過していない場合は、指定管理者制度導入後からの平均決算額を記入。

※成果配分金は当該年度に記載（市の決算上は翌年度収入）

3 モニタリング評価		
評価項目	評価の視点	評価
公平な使用の確保	＜公平性の確保＞使用許可は適切に行われたか、不適切な利用制限はなかったか	3
市民サービスの向上	＜事業等運営＞新たなサービスの提供等、具体的なサービスの向上を図っているか	4
	＜施設維持管理＞設備機能維持のための保守点検、清掃業務・光熱水費・備品管理等に遺漏はないか	4
	＜情報管理＞個人情報保護及び情報公開について十分配慮し、必要な措置を講じているか	3
	＜危機管理＞事故・災害等に対する綿密な危機管理体制が整っているか	3
	＜市民協働＞地域住民と一体化した取り組みがなされているか	3
	＜ノーマライゼーション＞障害者や高齢者等に配慮した運営をしているか	3
	＜モニタリング＞利用者の満足度を図る仕組みや事後評価がなされているか	3
経費の節減など効率的な運営	＜収支の改善等＞利用者の増、経費の削減などの収支状況改善に向けた取り組みをしつつも、利用者にとって適正な運営をしているか	4
	＜経費の妥当性＞管理運営経費は、その内訳も含め妥当であり、適正に執行されているか	3
	＜再委託業務＞再委託されている業務の範囲は適切か	3
	＜環境対策＞市の環境施策を理解し、省エネ省資源等、地球環境に配慮した管理運営がなされているか	4
安定的な施設サービスの継続的な提供	＜サービスの信頼度＞施設管理手法及び維持管理体制が明確になっており、安全、安定的な施設管理ができていますか	4
	＜職員の専門性、配置体制＞職員の指導育成などが適正にされており、施設の管理及び事業の運営を行うにあたって十分な能力を有し、事業内容に適した職員が配置されているか	4
	＜労働条件＞職員に対し、労働法規等を遵守した適正な勤務体制か	3
	＜経営基盤＞指定管理者（母団体）は、公共サービス事業提供者にふさわしい理念・方針のもと、経営が安定しており、施設を継続的・安定的に管理できる能力を有しているか	5
施設の特性によるサービス提供 ※それぞれの施設における事業計画書等を参考に、評価の視点を設定する	＜スポーツ活動の充実＞スポーツの振興を図るために、関連情報の収集・提供、相談機会の提供を充実させているか	4
	＜サービスの向上と運営の効率化＞施設管理運営に対する利用者の満足度を調査・分析し、サービスの向上と運営の効率化を図っているか	4
	＜市との連携＞施設等の管理運営やスポーツ事業の運営等において、市との連携協力を図ることができているか	5
	＜新たな利用者の開拓と利用率の向上＞体育館をはじめとする施設全体の利用率を増加させるとともに、登録団体数についても増加が図れているか	4
合計点数		73 点/100点

※評価は、5（期待を大きく上回る）、4（期待以上）、3（期待通り）、2（期待をやや下回る）、1（期待を下回る）の5段階評価とし、3を標準とする。

4 評価点（現状と課題等を含む。）	
<p>*3の評価を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定管理者が実施した利用者アンケートにおいて、従業員への対応について7割以上「大変良い」または「良い」との評価を受けており、市民サービスの向上について期待以上の成果を上げている。 前年度に比べ施設利用者並びにレクンプログラムの参加者が増加している一方、利用料収入については微減となっている。今後は、利用料収入の増加につながる取り組みが求められる。 施設の老朽化に伴い突発的な修繕が頻発し修繕費用は年々増加している。 施設管理及び施設特性によるサービス提供において、東京ドームグループの特徴を活かした人材育成や事業展開が行われており、期待以上の成果を上げている。 	

5 総合評価									
公平な使用の確保		市民サービスの向上		経費節減など効率的な運営		安定的な施設サービスの継続的な提供		施設の特性によるサービス提供	
・公平性の確保	C	・事業等運営 ・施設維持管理 ・危機(情報)管理対策 ・市民協働 など	B	・収支の改善等 ・経費の妥当性 ・再委託業務 ・環境対策 など	B	・サービスの信頼度 ・職員の専門性、配置体制 ・労働条件 ・経営基盤 など	A	・設定した評価の視点	A

A期待を大きく上回る
B期待以上
C期待通り
D期待をやや下回る
E期待を下回る

令和元年度指定管理者モニタリングシート（平成30年度実績）

6 次年度以降に向けた方向性

*3及び4の記載内容を踏まえ、記載してください。また、特に評価すべき点、改善が望まれる点、今後取り組むべき点も記載してください。

- 施設の老朽化に伴い修繕費用のさらなる増加が見込まれており、経費の重複が発生しないように部分補修や交換修繕等適切な方法による計画的な対応が必要になる。
- 会議室の稼働率向上に向けた新たな取り組みが期待される。
- オリンピック・パラリンピックの開催を契機に、スポーツセンターの利用率向上並びに市民のスポーツ振興に寄与する事業の開催が期待される。